

## 2021年度 事業報告書

### I. 放送関係の各種事業の企画と実施、学会・講座・コンクール等への協力

- (1) 全国放送教育研究会連盟・NHK主催の第68回NHK杯全国高校放送コンテストの講師・審査員として協力、協会賞贈呈(理事長さらだたまこが出席)。
- (2) 協会及び協会員主催による作家育成(放送作家・脚本家含む)を目的としたセミナーの実施

#### ・セミナー「藤森いずみ土曜脚本塾」

4月24日より前期8回、11月13日より後期5回にて実施。

#### ・脚本通信添削講座「ネット寺子屋」

協会員が行う通信添削講座。原則インターネット経由のみでやり取りする。

2021年度の講師は高谷信之、清水喜美子、渡辺麻実(敬称略)の3名。

#### ・「創作テレビドラマ大賞・創作ラジオドラマ大賞」公開講座

NHKの後援を得て実施。

#### 【テレビドラマ大賞 公開講座】

2021年5月30日(日) 15:00～17:30

#### 「オリジナル 何を書くか、どう書くか？」

出演:久松真一、あべ美佳、船越凡平(第45回・大賞受賞者)、

訓覇圭(NHK チーフプロデューサー)

西村武五郎(NHK チーフディレクター)

司会: 井出真理

チケット申し込み 250名。

#### 【ラジオドラマ大賞 公開講座】

第1回 11月19日(金) 19:00～20:00

「大賞受賞脚本家・山本むつみさんにあれもこれも聞いてみよう」

出演: 山本むつみ 司会(聞き手): 井出真理

第2回 11月20日(土) 16:00～17:00

「セリフ術! ～良いセリフと残念なセリフ～」

出演: 北阪昌人 実演担当: 野瀬育二、小泉まき 総合司会: 井出真理

第3回 11月23日(火・祝) 16:00～17:30

「ハズしてヒネッてウラギッて ～意表をつくアイデア着想法～」

出演: 藤井青銅

「創作ラジオドラマ大賞・大賞受賞作品が放送されるまで」

出演: 足立聡(第49回創作ラジオ・大賞受賞者)

「ドラマ化したい! とおぼせる脚本とは」

出演: 木村明広(NHK オーディオドラマ班 CP 大賞受賞作を演出)

総合司会(聞き手): 井出真理

3 回通しチケット:148 枚、単独チケット 31 枚。

協会員等の招待、見逃し視聴を含め、のべ 300 名以上が参加。

テレビ・ラジオともオンラインで開催したことにより、リアル開催時の都内近郊からの参加の他、地方からの参加も多く、アンケート結果でも満足度が高かったことが伺えた。

## II. 未来を担う若手脚本家の発掘と育成

例年通り日本放送作家協会とNHKの共済事業として、NHKエンタープライズおよび放送文化基金の後援を得て「創作テレビドラマ大賞」、放送文化基金の後援を得て「創作ラジオドラマ大賞」を実施。

### (1) 第46回創作テレビドラマ大賞

応募総数1022篇から大賞 1 篇、佳作2篇を決定。

大賞 竹川 春菜・作 『月食の夜は』  
佳作一席 武田 雄樹・作 『塔の三姉妹』  
佳作二席 中川 裕規・作 『お粹に花咲く』

### (2) 第50回創作ラジオドラマ大賞

応募総数362篇から大賞1篇、佳作2篇を決定。

大賞 上原 哲也・作 『決められない松田、おすすめの一本』  
佳作一席 杉原 大吾・作 『傑作が落ちてくる』  
佳作二席 鈴木 佳朗・作 『息が、つまるほどの』

※ 大賞作品と佳作一席は、制作が始まっている。

## III. 協会の広報活動

- (1) 協会及び協会員の活動を紹介するホームページの維持、管理、更新
- (2) 協賛団体(株)EDIT運営のサイトMonjaにて会員リレーコラムを毎週日曜に掲載
- (3) 「放送作家の番組証言アーカイブ」を協力団体としてサポート

## IV. 放送文化の向上に寄与した団体および個人の表彰

〔功労者顕彰〕

今井 詔二 岩立 良作 大石 静 押井 守 金子 りつ子 鷺山 京子  
千葉 邦彦 原田 ケンジ 広井 由美子 松井 尚 水城 ゆう 藤川 ヤヨイ

## V. よしもとクリエイティブ・エージェンシーとの提携

2019 年度、2020 年度に引き続き、よしもとクリエイティブ・エージェンシーとの提携により、ルミネTHEよしもとの無料観覧について、コロナ後を見据え連携を検討した。

## VI. その他の活動

### ・「組織に関する規約」第7章「準会員」の改正

(2021年12月17日理事会承認)

若手育成を目的とした準会員制度の活用を目的として、準会員制度について会員から準会員になる制度を廃止した。

さらに育成期間を3年間に制限し、正会員になることを目標とした制度とした。

#### 【改正前】

第1条 本規約第1章第5条の条件は満たさないものの日本放送作家協会の活動趣旨に賛同し参加を希望するもの、および正会員の資格を満たさなくなったものの日本放送作家協会の活動に携わることが希望するものを準会員とすることができる。

第2条 準会員は定款第18条の定める議決権を有しない。

第3条 準会員の会費は年3,000円とし、正会員になる者については会費は月割で持ち越されるものとする。

#### 【改正後】

第1条 本規約第1章第5条の条件は満たさないが、日本放送作家協会の活動趣旨に賛同し参加を希望するものを準会員とすることができる。

第2条 準会員は定款第18条の定める議決権を有しない。

第3条 準会員は入会金3,000円 年会費を年3,000円とする。準会員から正会員になる者については、入会金を免除とし、会費は月割で持ち越されるものとする。

第4条 準会員の期間を3年間とし、実績を積み正会員になることを前提とする。

### ・第四回「西の正倉院みさと文学賞」への協力

(株)TBS スパークルよりさらだたまこ理事長に依頼のあった事業。宮崎県美郷町主催「西の正倉院みさと文学賞」の運営(審査・広報)に協力。審査員長は小説家・中村航氏。応募作60作品から大賞1作、優秀賞3作、佳作5作を選出。2022年3月20日授賞式を実施(オンライン開催)。

受賞作品は「第4回西の正倉院みさと文学賞作品集」(発行・クラーケン)として一般販売。

### ・脚本家プロフィール収集

2019年度、VIPO(映像産業振興機構)よりさらだたまこ理事長を通し依頼のあった事業。VIPOの推進事業に掲げるクリエイターバンク(さまざまな分

野の作家の海外向けのデータベース)について、経産省の予算を使って、脚本家のプロフィール収集依頼。

2021年度はさらだ理事長に加え石橋常務理事が担当し、11名のプロフィールの更新を行った。新規登録は2名。VIPOのウェブサイトに掲載した。  
(<https://japancreatorbank.com>)

### ・東京作家大学

日本放送作家協会関西支部が故・藤本義一支部長時代より約30年にわたり運営してきた「作家養成スクール 心齋橋大学」のメソッドを東京に導入した「市川森一・藤本義一記念 東京作家大学」の設立・運営に協力。運営は「心齋橋大学」同様、株式会社大阪教育研究所が行い、協会はカリキュラム作成と講師紹介等を担う(講師は大阪教育研究所と直接契約)。2021年度の大阪教育研究所からの賛助会費は200万円。

### ・第二回「テレビ感想文コンクール」の延期

実施を検討したが、コロナ禍のため延期した。

## VI. 支部

### 1. 関西支部 林禧男(支部長) 落合武司(事務局長) 北村京子(監事)

#### 1. 心齋橋大学第35期生の開講

コロナ禍の中、当支部の放送作家が中心となって講師を務める「心齋橋大学」の35期生が無事開校できた。

2. リモートによる授業を充実させ、通信講座として広げ、遠方からの入学者が増えた。

3. 開高健 生誕90周年記念講座として開高健最後の弟子であり、公益財団法人開高健記念会理事である坪松博之氏による「開高健・文章の世界」が開校できた。好評で終了した。

4. 心齋橋大学がラジオドラマの脚本公募は中止した。

5. 関西支部メンバーによる同人誌を作る予定をしていたがコロナ禍の為、中止とした。

6. 放送作家協会と、脚本家連盟の組織を分けるのに、銀行口座を作る段階まで来た。

(文責・林禧男)

### 2. 中部支部 支部長:柳瀬元志 事務局:大谷えり子 白石栄里子

#### ①「中部テレビ大賞」開催中止

毎年実施している、中部支部最大のイベント「中部テレビ大賞」。

昨年度は、記念すべき25回目を迎えるはずであったが、残念ながらコロナ禍のため、エントリー作品数が基準を満たさず(10本→9本)中止となった。

やはり各局とも番組制作に対する影響は否めず、やむを得ない判断となった。

今年度も影響は避けられないと思うが、去年エントリーした作品を持ち越しとすることで、

基準値は確保することとした。

中部支部として、改めて開催に向け前進したい。

## ②リモート勉強会

3月8日(火)東海3県で高い人気を誇る中京テレビ「前略、大とくさん」(日曜朝9時55分～)のプロデューサー林弘幸氏をお招きし、ネット時代の地方局のあり方や、今後の方向性などをテーマとしたリモート勉強会を開催した。

(文責・支部長 柳瀬元志)

## 3.九州支部 支部長 盛多直隆 事務局長 皆田和行 監事 香月隆

1)従来より開催している放送シナリオ講座の継続。講師陣は支部会員若干名。

(日本放送作家協会九州支部&西日本新聞TNC文化サークル・アイ&カルチャ天神共催)

2)シナリオコンクール「南のシナリオ大賞」の運営、ならびに大賞入選作品のウェブ・ドラマ化およびインターネット配信(1年間公開)。第15回の応募総数は300編。

3)支部会員が脚本を書いた舞台は、コロナの影響で公演出来ませんでした。

4)支部のホームページは、常に更新しています。会員のイベント情報も掲載され活発に運営されています。

6)九州支部の会員のコミュニケーションを図るために親睦会を計画しましたが新型コロナのため中止としました。

7)そのほか支部活性化のための事業を適宜、採択しています。

(文責・盛多直隆)

## 4.北海道支部 支部長:伊藤正浩 事務局長:藤原晴美 監事:吉本椎葉

顧問:菊地寛 永井浩

1)高校生の放送活動への支援と協力

①北海道高等学校文化連盟放送コンテスト石狩大会の後援・審査員の紹介(10月)

②北海道高等学校文化連盟放送コンテスト全道大会の後援・審査員の紹介(12月)

2)新人作家の養成・発掘のための支援と協力

①日本脚本家連盟北海道支部主催の「北のシナリオ大賞」に協力

3)北海道内放送関連の文化事業への協力と参加

4)北海道支部ホームページの充実

5)「北海道シナリオ撰集・2022」の刊行

(文責・伊藤正浩)

## 5.中国支部 支部長:野津聖治 監事:山田幸

2019年末に放送作家協会設立60周年の企画として中国支部において制作したラジオドラマが「もみじまんじゅう物語」です。ドラマのあらすじを募集し、入選作を支部会員が

脚色するという形で地元民放局において制作し、放送しました。放送終了後、2年に一度は支部の企画でラジオドラマを制作し、放送に結び付けようと支部内で目標を定めました。このラジオドラマの制作過程で、中国支部の次世代を担ってくれる新規会員の発掘、地元放送局の局員との制作ノウハウの共有等、中国支部復活の足掛かりになればと目論んでいました。しかし、2021年度は、その第2弾を発表することも無く、それどころか、支部として何も活動しなかった状況となり、反省をしています。

その反省の思いで年度末を迎えようとしていた時、突然舞い込んできたのが、支部長名切勝則さんの急逝の報せです。2月18日、61歳という若さで旅立たれました。あまりに急な逝去の報せに、私たちは呆然とするだけでした。

名切さんは広島県の民放各局で構成作家として活躍され、中国支部でも支部長として私たち支部会員を引っ張って来た支部の要でありました。その名切さんを失った我々は、無念の思いと共に、支部の将来に対して大きな不安を抱えている状況です。

そのような状況ではありますが、来年、中国支部は設立60周年という節目の年を迎えます。今まで、諸先輩方が築かれてきた「地域の放送文化に貢献する」という支部活動の歴史を絶やすことなく、活動していかなければという思いでいます。

2021年度の事業報告が反省の弁と、名切支部長の追悼文となってしまう申し訳ない思いですが、支部会員個人としての活動で報告したいものが2つあります。

1つは法安桂子さんが、ご尊父である考古学者中谷治宇二郎氏(物理学者中谷宇吉郎氏の実弟)の足跡をまとめた「幻の父を追って」(改訂版)を出版されたことです。35歳で夭折された治宇二郎氏の考古学者としての足跡をたどると共に、若い頃、小説家に憧れて同人誌に発表し、芥川龍之介に絶賛された小説「獨創者の喜び」も掲載されています。

もう1つは、添谷泰一さんが山陰を舞台に制作した2本の自主映画の上映です。カフカの小説「城」を題材に、米子城を舞台に撮影した「城」(上映時間32分)と、コロナ禍の中、親友の女子大生2人が鳥取から松江までの小さな卒業旅行で見つけたものは…という「さよなら三月、また来て四月」(上映時間35分)です。3月に上映されました。

中国支部会員はわずか5人となりました。しかし、新年度はその数に負けない活動ができればと思っています。

(文責・野津聖治)

## Ⅶ. 運営

### 1. 理事会の現役員は次の通り(2022年4月1日現在)

理事長 股野尚子(さらだたまこ)

常務理事(3名) 石橋 里恵(石橋映里)、井出 真理、村上 卓史

理事(11名) 芦田多江子(東 多江子)、荒井修子、伊藤佳子(いとう菜のは)、  
内村宏幸、香取俊一(香取俊介)、小林雄次、東海林 桂、  
豊田拓臣、仲 陽子(たむらようこ)、中村直子(羽田野直子)、  
久松真一

監 事(2名) 上滝徹也(外部:日本大学名誉教授)  
高橋 聡子(入山さと子(協会員))

### 2. 収支決算は提出別掲(決算報告書)の通り

### 3. 事務局職員 阿部佳奈子が協会事務を担当。

### 4. 事務局業務 常務理事が規約の日当支払に準じて分担して業務を担当。

以上、当協会2021年度 事業報告書であります

2022年 4月 28日

一般社団法人 日本放送作家協会

理事長 股野 尚子 ㊞